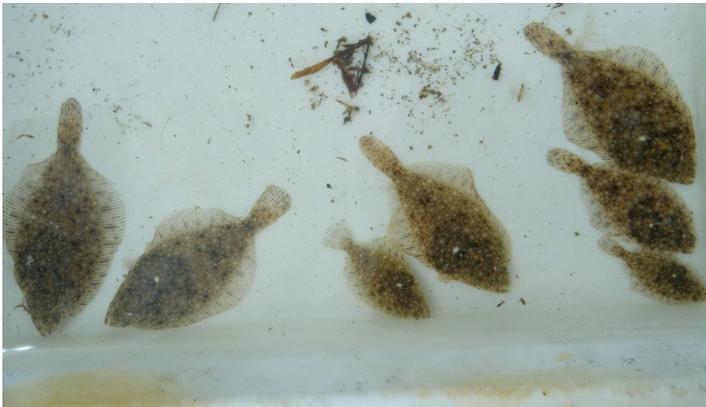


順調なイシガレイの成長

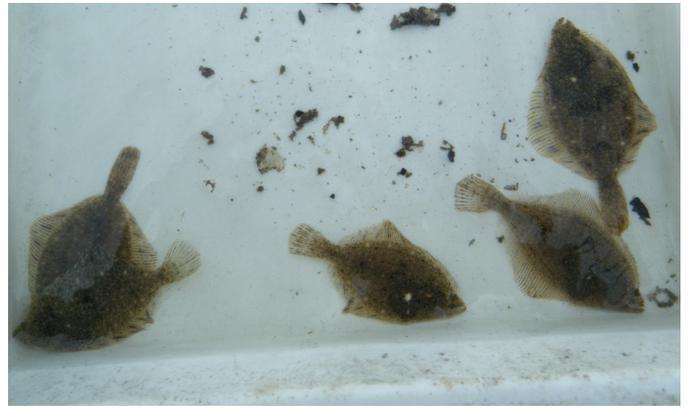
■順調に成長するイシガレイ

今回の調査でも潟湖内でイシガレイを採集することができた。Table.1に示したように、潟湖内では大型の個体のみが採集された。河口域と潟湖内で採集した個体はFig.1, 2の通りである。

また河口域は明るい色の砂が堆積しているのに対し、潟湖内は枯葉などが堆積している。そのため、潟湖内で採集した稚魚は、河口域の個体と比較して暗い色をしている (Fig.3, 4)。



(Fig.1 河口域で採集したイシガレイ)



(Fig.2 潟湖内で採集したイシガレイ)

全長 (cm)	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0	6.5	計	平均全長
個体数 (匹) (河口域)	2	2	3	1	1	1	3	1	14	4.6cm
個体数 (匹) (潟湖内)	0	0	0	0	0	2	2	1	5	5.9cm

(Table.1 イシガレイの全長と個体数)



(Fig.3 河口域の個体)

■河口域のモクズガニ

河口では繁殖のため川を下ってきたと思われるモクズガニが観察された (Fig.5)。すでに繁殖を終えたと思われる個体の死骸も見られ、川と海のつながりは維持されていると思われる。



(Fig.5 モクズガニ)



(Fig.4 潟湖内の個体)

※カレイは右側、ヒラメは左側に目があると言われるが、イシガレイは左側に目がある個体も見られる